



絶滅危惧種
京丹後のハヤブサ

ハヤブサ

ニュース
No.42

発行 米軍X バンドレーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒 602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込口座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

「ヘリ基地反対協」主催 「オール沖縄」連帯の
あわ
…12/3 辺野古埋め立て阻止…
安和棧橋を包囲し、〈海と陸〉呼応の
総行動に京都デモで連帯・決起しよう!

12月3日〈火〉18:30~

京都市役所前集合→デモ

のぼり
旗・幟・プラカード・鳴り物その他歓迎

主催 辺野古埋め立て反対京都実行委員会

連絡先 090-4643-2940〈増野〉

沖縄・辺野古から連帯を求めるアピール
が届きました。



12/3 海では「ヘリ基地反対協」の辺野古ブルーが安和棧橋から土砂を積み出す運搬船を実力で阻止するため総行動を行います。

それに呼応して「オール沖縄」は対岸の浜で土砂搬入阻止で連帯行動を行います。私たち「京都連絡会」も「辺野古埋め立て反対京都実行委員会」の参加団体として12/3 京都市役所前に結集し、連帯の行動を取り組みます。是非ともご参加を!



辺野古の今

この間政府・防衛省は、警察権力と司法(裁判所)を使って沖縄県民の民意を暴力的に弾圧し、辺野古新基地建設を強行してきました。彼らの意図はハッキリしています。「ここまで埋め立てを強行すればあきらめるだろう」と。しかし、沖縄の民意はあきらめていません。連日、警察や海保に暴力的に排除されても「ヘリ基地反対協」の辺野古ブルーは海上行動で、オール沖縄はキャンプ・シュワブゲート前や安和棧橋で、〈海と陸〉で徹底抗戦し、辺野古埋

め立て阻止を続けています。闘いの結果、未だ埋め立ては計画の約4%しか工事は進んでいません。まだ、辺野古の海を守り、新基地建設を断念させることが出来るのです。

改めて辺野古新基地建設とは何か?

辺野古新基地は海兵隊基地としてつくられています。ここにはMV-22のオスプレイ、F-35Bのステルス垂直着陸戦闘機、水陸両用の戦闘駆動車が配備され、さらに新基地には270余の岸壁、ここには強襲揚陸艦や改造空母いずもなどが接岸でき、何時でも何処へでもオスプレイやF-35B、水陸両用戦闘駆動車を艦載させて民衆の闘いに銃を向けて弾圧する海外派兵の前進基地として建設されているのです。

この新基地建設の周辺には、辺野古弾薬庫、レーダー基地、隣に海兵隊の都市型訓練施設・キャンプ・ハンセンがあり、更に高江にオスプレイバット、北部にジャングル山岳対応の海兵隊演習場、伊江島にF-35Bの離着陸演習場とパラシュート降下訓練場があります。これらの施設を統合運用すれば辺野古新基地建設を中心に世界最大規模の海兵隊基地が出来ると言えます。

基地被害だけでなく諸国民に武器を向ける自衛隊・海外派兵の前進基地・辺野古新基地建設を阻止しよう!

この新基地建設は、確かに沖縄に新たな基地負担と被害をもたらします。そのことは断じて許せませんし、基地被害と闘う沖縄民衆と共に闘います。しかし、私たちの闘いは基地被害だけではなく、この新基地建設は、安倍内閣が朝鮮・中国敵視を煽り、軍拡を進めて海外進出した独占資本の権益(資本輸出や企業進出)を軍力で防衛するために進めているのであり、決して日本の民衆のためではありません。

辺野古新基地建設を阻止し、治安強化や軍拡、自衛隊の海外派兵(改憲)を進める独占資本の政治的代理人・安倍政権を打倒する意志をデモで京都の労働者・市民に強く訴えましょう。

働くものたちすべてに、私たちの憲法は第28条で明快にその権利を保障しています。

福井 滲子



昨年夏以来、連帯労組関西生コン支部に襲いかかっているなりふりかまわぬ弾圧の仕方は、今の公権力の退廃とあせりを鏡のように映し出しています。

大津署、京都の五条署、南署の前で毎週土曜日に抗議の声を上げ続けてI年以上、武委員長は今、大阪府警の拘置所で、もう一人の仲間は和歌山の拘置所で、寒さに耐えて闘っています。

拘束は2人のみとなりましたが、これからも長い裁判のたたかいが続きます。

先日参加した岩国の集会では、各地で労働運動、市民運動に地道に取り組む方々の熱い言葉に勇気づけられました。当然のこと、関西生コン支部への弾圧とそれに対する抵抗の闘いは集会の大きな議題の一つとして参加者が共有しました。

岩国で改めて感じたことですが、それぞれの現場で頑張る人の声と言葉が常に魅力的なのはその人の主体性ある生き方が聴く人にまっすぐに伝わる心地よさのためでしょう。私のように民衆の運動や連帯に無縁だった者でも、ただ一点「13歳で敗戦を経験した自分には一生負うべき責任と役目があるのだ」という内なる声がいつも聞こえていて、その声と共鳴する場所に私は出かけていくのです。

たくましい関生支部の皆さんの笑顔が広い青空の下で見られる日まで、手を携え、心を寄せ合い、向かい風の中を進んでいきましょう。

緊急

「岩国行動」の報告

山本 純

11月16日・17日の両日、岩国において岩国行動2019が開催されました。主催は、アジア共同行動日本連絡会議と岩国・労働者反戦交流集会実行委員会の共催でした。この取り組みには、京都連絡会運営委員会から5人の仲間と多くの会員が参加しました。

11月16日は15時から、岩国市民会館での岩国・労働者反戦交流集会から開始されました。実行委員会代表の垣沼陽輔さんの主催者あいさつと基調提起に続いて、全日建連帯労組関生支部および全港湾大阪支部からの特別報告が行われ、労働者反戦闘争の再建をテーマとして活発な討議が行われました。続いて、17時30分から「全国反基地運動交流会」が開催されました。反基地交流会は、西日本の米軍基地・自衛隊基地に今回は焦点をあてるという趣旨から、岩国の岡村寛さん（愛宕山を守る会代表）、萩/阿武の安藤公門さん（いのち・未来うべ/イージスふあんクラブ・山口）、築城の渡辺ひろ子さん（平和と命をみつめる会代表）、沖縄の金治明さん（辺野古カヌー隊/じゅごんの海店長）がパネラーとして発題を行いました。その発題に続いて、各地から参加した反基地運動からの発言が行われ、京都連絡会の山本事務局長が京丹後の闘いの報告を行いました。

翌17日は、9時から岩国市民会館で国際集会が開催されました。今年は、韓国からは参加できず、滞日フィリピン人団体のバヤン・ジャパンが参加しました。基調報告に続いて岩国の田村順玄さん、萩の藤井郁子さん、沖縄の金治明さん、横田の大森進さん、岩国・労働者反戦交流集会実行委員会の南さん、連帯労組関西生コン支部、上関の高島美登里さん、AWCユースが発言し、閉会の挨拶を日本連共同代表の瀧川順朗さんが行いました。その後、参加者は岩国基地までのデモを元気に行って岩国行動を締めくくりました。

オスプレイ飛ばすな！ 日米合同軍事演習反対！ 憲法改悪阻止！ あいば野集會に結集しよう！

日時 2019年11月30日(土) 12:30

場所 高島市今津町 住吉公園 近江今津駅 徒歩3分 (近江今津駅解散)

主催 平和フォーラム関西ブロック (滋賀県民平和・人権運動センター TEL 077-522-4644)

あいば野に平和を！ 近畿ネットワーク

(稲村 TEL 080-5713-8629)

京丹後・宇川訪問活動

12月17日(火) 8:30集合・出発

集合地 五条大橋西詰ガソリンスタンド前

連絡先 080-8327-5588 (瀧川)

11/10「米軍基地いらんちゃフェスタ in丹後」集会で「近畿連絡会」から挨拶「挨拶原稿 転載」 代表世話人 大湾宗則



ご紹介にあずかりました「米軍 X バンドレーダー基地 反対近畿連絡会」の大湾でございます。

今日も基地ゲート前で基地撤去の声を上げてここに参加しました。大衆闘争は公然と民意を示すことが原則と理解しているからです。

2013年2月、安倍首相とオバマ大統領によってここ京丹後に米軍 X バンドレーダー基地の配備が決まって6年、私たちは現地闘争を軸に宇川への戸別訪問、京都市内での街なかビラ配布、集会やデモで基地撤去を訴えてきました。

しかし京丹後では、三角地が新たに米軍基地に組み込まれて基地が拡張され、第二期工事は隊舎や厚生施設、さらに今後は高さ約3mの防護壁で基地を囲い、銃座付きの監視塔、そして鋼鉄製のシェルター配備が予定されています。

「このレーダー基地の防衛が必要」という理由でPAC-3の配備も推察されます。なぜなら、同じ X バンドレーダーを配備している青森県・津軽の車力分トン基地には既に PAC-3 が配備されているからです。

これまで京丹後で米軍と自衛隊よる実践を想定した基地防衛訓練が大規模に始まっています。こうしてみると「防衛用だから攻撃されることはない」という防衛局の話が嘘だったことを示しています。

この X バンドレーダーを中心にして「イージス艦の母港の舞鶴、海兵隊訓練を受けている陸上自衛隊福知山駐屯地、米軍オスプレイが参加する日米共同饗場野演習場」と一体化した巨大な軍事要塞化がここ近畿で進んでいます。

住民との約束〈契約〉は何一つ守られていない。

京丹後への X バンドレーダー基地建設前に地元住民と防衛局で話し合いが持たれるました。住民から疑問と心配事について質問したところ防衛局は「ドクターヘリ運航時は即レーダー停波、基地拡張はしない、米軍属はホテルに集団生活して基地との往復は地元運転手によるマイクロバスで基地と宿舎を行き来するので交通事故も人権侵害も起こさない、土日工事も行わない」、さらに「レーダー基地は防衛用だから敵に攻撃されることはない」と。

防衛局は住民の「安心・安全」、基地被害の心配を全て「丸呑み」し、「国が責任をもって皆さんの安心・安全を守る」と約束しました。これで地元の一軒〈平和菜園〉を除いて基地対象地域の尾和・袖志の地権者が OK し、地元が OK ならということ京丹後市も京都府も受け入れ表明しました。ただ条件がつけら「〈防衛局や米軍が〉約束を守らず、住民の安心・安全が守られないなら受け入れ撤回もあり得る」と。

基地受け入れ撤回へ！ 基地撤去の本気度を！

防衛局は住民との約束の一つとして守っていない。「憂う会」や私たち連絡会が再三抗議・要請しても守られたことはない。基地受け入れの前提が崩れ、撤回の条件は揃っています。

毎年3月末の契約更新を拒否するよう袖志の軍用地主に働きかけ、京丹後市や京都府には受け入れ撤回するよう働きかけなければならない時期に至っています。基地撤去の本気度を示さなければなりません。

基地被害だけでなく加害性こそ弾劾しよう！ 辺野古埋め立て阻止、韓国のTHAADシステム配備反対を国際連帯で発展させよう

地元では基地被害を恐れ、「安心・安全」に関心が集中していますが、米軍 X バンドレーダーの危険性は被害ではありません。

レーダーは朝鮮半島に向けられています。日本政府は、朝鮮を敵視して東北アジアの軍事的緊張をかき立て、これに対抗するという理由で安倍内閣は軍拡と治安強化、そして自衛隊海外派兵の改憲を進めています。基地は東アジアから世界につながって運用されています。

沖縄での辺野古新基地建設や沖縄諸島への自衛隊配備に反対し、韓国での THAAD システム配備反対と連帯して全国的な反基地闘争を背景に私たちの趣旨に賛同する野党としっかりスクラムを組んで共に安倍内閣を打倒しましょう。

12月の企画

- 11/23(土)老朽原発動かすな リレーデモ開始
高浜でスタート集会
- 11/29(金) 1400 琉球遺骨返還請求訴訟
京都地裁大法廷(一階)
傍聴券の関係で1300までにおいでください。
照屋寛徳氏の意見陳述他
終了後、弁護士会館会議室で報告集会
- 12/3(火)1830 辺野古埋め立て阻止沖縄連帯行動
京都市役所前集合→デモ
- 12/19(木)1830 19行動日 京都市役所前
- 12/21(土) 受付1330 開演1400~1700
恒例 大ゆんたく 参加費2,000円
部落解放センター(ホール)
一品持ちより歓迎 連絡先090-4643-2940 <増野>
実費精算 090-1590-9469 <山本>

「街なかピラ」の報告

- 第85回 10月22日(火) 出町商店街周辺 5人
第86回 11月8日(金) 堀川三条商店街 6人

<街の人の声>

- ◇ (出町で) 日本が戦争で敗けたから仕方ない。
占領軍のままやと怒ってる男性(70代ぐらい?)
- ◇ 基地、知らなかった。とんでもない。宇治なら拒否するが…(宇治に在住の60代女性)
※30分間労働相談をしてピラ配りが出来なかった仲間。良い
出会いが出来て有意義な行動参加でした。
- ◇ (堀川三条で) 基地のこと、知らなかった。父がビルマで戦死した。戦争は絶対にしてはダメ!
- ◇ 電磁波が一番体に悪いのや。(年配の男性)
- ◇ あんたら、エホバやろ?(エホバと言われたのは初めてです)
- ※ 商店街の中のスーパー前、受け取り率は抜群に良かった。

次回の「街なかピラ」の案内です。

- 第87回 11月21日(木) 11:00~12:00「東寺」**終了**
- 第88回 12月9日(月) 11:00~12:00
竹田久保町周辺
集合場所:「竹田久保町」交差点の東南角
- 第89回 12月16日(月) 11:00~12:00
大手筋商店街
集合場所:京阪電車「伏見桃山」駅前

お忙しいでしょうがご都合の付く方は是非ご参加ください。090-5672-1597(白井)

発行 全日本建設運輸連帯労働組合 2019.11.6

転載

仲間2人が保釈された 加茂生コン事件(京都)の逮捕者、4か月半ぶり

●よろこびに湧く関生支部

11月1日に組合員Yさん、5日に執行委員のYさんの2人が保釈された。6月19日に不当逮捕されてからじつに4か月半ぶり。関生支部事務所では歓声があがった。2人は、あの「加茂生コン事件」で、武委員長、湯川副委員長らとともに逮捕された。

●改めてふりかえる加茂生コン事件の経緯

この事件は2017年10月、京都府木津川市の生コン会社、株式会社村田建材で働く運転手Aさんが組合に加入して社会労働保険適用と残業代支払いなどを要求したことに始まる。

Aさんは常用雇用の実態なのに日雇い手帳をもたされて働く運転手だった。だが、京都労働局管内で大がかりな日雇い偽装の失業手当不正受給事件が摘発されたことから、驚いた会社が日雇い手帳を取り上げたため、それ以後は「アルバイト」として働かされていた。労働者として当然の権利実現を要求して団交申し入れしたのだが、会社は団交を拒否。さらに、Aさんが子どもが保育園に通うために必要な「就労証明書」に会社印を押すよう求めたところ、それ以前はすぐさま押印していたのに、組合加入後は「雇用関係を認めたことになる」ことを理由に会社は拒否。さらに、会社が団交拒否のまま工場を閉鎖したことから、組合は2018年6月、大阪府労働委員会に不当労働行為救済を申し立て、その後、社長一族も出席して証人尋問も行われ、2019年6月20日に府労委による和解調査がおこなわれる予定だった。事件に関する労使双方の主張も証拠もこの大阪府労働委員会で出尽くしている。刑事事件に相当する疑いが百歩譲ってあったとしても証拠隠滅のおそれなどあるはずもない。

それなのに、和解調査の前日、京都府警組織犯罪対策課が乗り込んで来て逮捕したというデタラメ極まりない弾圧事件が加茂生コン事件である。

それを京都新聞は「正社員として雇用するよう不当に要求した疑い」と警察発表を鵜呑みにして報じたのだった。

●近く労働委員会命令の予定

4か月半の長期勾留のあいだ、警察や検察の不当な取り調べは労働組合から脱退させることのみを目的にしたものだった。拘置所の処遇もはなはだしい人権侵害にほかならない。その実情は近くお伝えすることにしたい。なお、大阪府労委事件はすでに結審。近く命令が出される予定。